

各位

2014年4月11日

株式会社イオンファンタジー

代表取締役社長 片岡 尚

(コード番号：4343)

問い合わせ先

常務取締役管理統括 新田 悟

043-212-6203

「中期経営計画（2014～2016年度）」について

株式会社イオンファンタジーは、2016年度までの3カ年計画「イオンファンタジー中期経営計画（2014～2016年度）」を策定致しました。

当社は、1997年の会社設立以来、国内でのイオングループの成長とともに‘室内ゆうえんち’事業を成長の柱に急速に業容の拡大を進めて参りました。その後、国内市場は2006年のアミューズメント市場のピークを境に市場の成熟化が進むとともに、少子高齢化の進展や電子デバイス機器の普及等、ファミリーの遊びに対するニーズも大きく変化しつつあります。それは同時に当社が出店してきたショッピングセンターに求めるお客さまの変化も意味しており、当社のビジネスモデルの転換を迫るものと考えております。

一方で、中国・アセアン諸国では確実に中間層は拡大し、遊びに対する需要は年々高まってきております。当社はそのような状況を踏まえ、2008年に中国での1号店開設を契機に海外事業の拡大を進めて参りました。この度の中期経営計画は、成熟した国内市場でのビジネスモデルの変革とともに、海外での新たな成長に向け、2020年のビジョンを明示し、そのための中期経営戦略の方向性を明確に定めるために策定するものであります。

2020年ビジョン

アジアの人々の暮らしの中に遊びを通じた豊かなライフスタイルを提供します

2020年戦略目標

店舗数	1,300店舗	(国内	400店舗	海外	900店舗)
売上高	1,000億円	(国内	600億円	海外	400億円)
営業利益	100億円	(国内	60億円	海外	40億円)

「中期経営計画」

1. 成長を支える戦略サイクル

- ① 店舗数増大
 - ・ 中国、アセアン諸国への出店の加速
 - ・ 14年 80店舗、15年 90店舗、16年 100店舗の新規出店
- ② オリジナルゲーム機開発と海外調達拡大
 - ・ オリジナルキャラクターを使用したゲーム機の開発
 - ・ 海外子会社を含めた需要集約の推進
- ③ ブランディング推進
 - ・ 「Mollyfantasy ブランド」と「キャラクターブランド」の確立



2. 新規事業

- ① 既存事業を活用した物販事業 (キャラクター物販事業・知育玩具等の物販事業)
- ② 既存ノウハウを活用した新業態 (次世代テーマ型プレイブランド)

3. 2016年戦略目標

ポジショニング	アジアにおける屋内型エンターテイメント施設事業	第3位
	アジアにおけるアミューズメント事業	第1位
店舗数	700店舗 (国内 360店舗 海外 340店舗)	
売上高	600億円 (国内 500億円 海外 100億円)	
営業利益	50億円 (国内 46億円 海外 4億円)	

以上